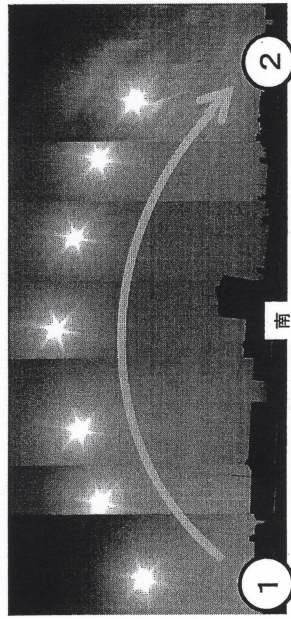


8 太陽と地面の様子

1. 下の図は、太陽の1日の動きのようすを表しています。



(1) ①②はそれぞれ、東西南北のうちどの方向ですか。

①	東	②	西
---	---	---	---

(2) () の中に、あてはまることばをかきましょう。

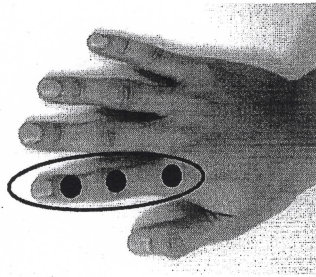
- ・太陽が東の方角にあるとき、かげは (西) の方角にできる。
- ・かげが動くのは、(太陽) が動くからである。

2. 日なたの地面と日かげの地面のちがいで、正しいものには○、まちがっているものには×を、() の中にかきましよう。

- (○) 日なたと日かげでは、明るさが違う。
- (○) 日なたと日かげでは、地面のあたたかさが違う。
- (×) 日なたと日かげでは、しめり気はかわらない。
- (○) 日なたの地面は、日かげの地面より温度が高い。

12 人の体のつくりと運動

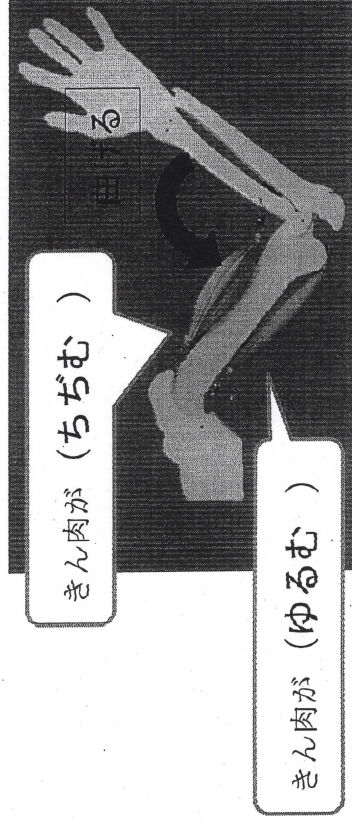
1. 右の図は人の手です。
○でかこんだ部分の、曲げることができる
ところに、●をかきいれましよう。



2. () の中に、あてはまることばをかきましよう。

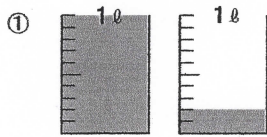
- ・体を曲げたり回したりできるところは、ほねとほねのつなぎ目で、このつなぎ目を (関節) という。

3. 下の図は、人がうでを曲げるときの、きん肉のようすを表しています。
() に、「ちぢむ」、「ゆるむ」、のどちらかをかき入れましよう。

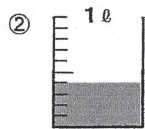


4. () の中に、あてはまる言葉をかきましよう。
- ・人は、(ほね) についているきん肉をちぢめたりゆるめたりすることで、体を動かすことができる。

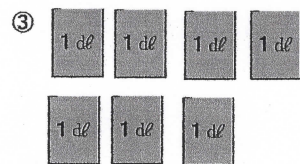
1 次の水のかさは、それぞれ何ℓといえよ、答えなさい。



1.2 ℓ

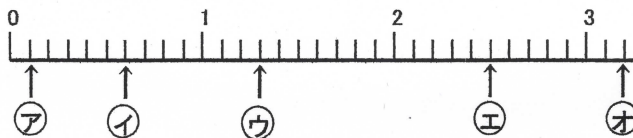


0.4 ℓ



0.7 ℓ

2 次の数直線に示されたア～オの数を小数で答えなさい。



ア 0.1

イ 0.6

ウ 1.3

エ 2.5

オ 3.2

3 の中であてはまる数をかきなさい。

① 36.8は、0.1が に集まった数です。

② 10より0.1小さい数は です。

③ 0.1が14こ、10が28こで、 です。

④ 421.3の小数第一位の数は、 です。

⑤ 0.1を に集めた数は、236.8です。

⑥ 7は、 を70に集めた数です。

4 次の計算を筆算でしなさい。

①
$$\begin{array}{r} 0.7 \\ + 0.6 \\ \hline 1.3 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 1.6 \\ + 4.4 \\ \hline 6.0 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 2.5 \\ + 3 \\ \hline 5.5 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 6.9 \\ - 2.7 \\ \hline 4.2 \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 12.4 \\ + 3.5 \\ \hline 15.9 \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 6 \\ - 2.3 \\ \hline 3.7 \end{array}$$

5 マフラーをあんんでいます。10分間に、きょう子さんは9cm あき子さんは6.7cmあみました。どちらが、何cm長くあみましましたか。

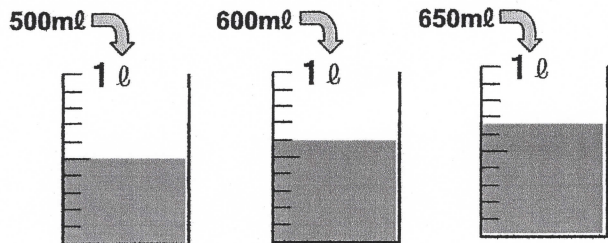
(式)

$$9 - 6.7 = 2.3$$

答え 2.3cm

6 1ℓずつに500ml、600ml、650mlの水を入れます。

① どこまで入りますか。赤えんぴつで、下のますに色をぬりなさい。



② それぞれの水のかさを、ℓの単位で表しなさい。

500ml ℓ

600ml ℓ

650ml ℓ

ゴール つなぎの言葉に気をつけて正しく文をつなごう。

- 別のことを書いている二つの文の間につなぎの言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくっつけるつなぎの言葉を、うまく意味がつながるように書きましよう。

(例) 試合に勝って、うれしかった。(だけど)、一回戦で負けて残念だった。
 先生はとても優しい。(しかし)、いじわるをすると、厳しく指導する。
 わたしは、早起きが苦手です。(だから)、朝食を食べないことがあります。

- ① 今日、私は、朝から熱がありました。(それで)、私は学校を休みました。
- ② 昨日、宿題がたくさんありました。(だから)、やり終えるのに、二時間かかりました。
- ③ 明日は、遠足で京都に行く予定です。(しかし)、天気予報は雨なので心配です。
- ④ 明後日は、テストがあります。(でも)、全然勉強していません。
- ⑤ ぼくは、牛乳が大好きです。(だから)、給食が待ち遠しいです。
- ⑥ わたしは、図書館に行きました。(そして)、しずかに本を読みました。
- ⑦ 試合に負けて悔しかった。(だから)、次の日から、一生懸命練習した。
- ⑧ 先生はとても厳しい。(けれども)、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

接続語(文と文をつなぐ言葉)

- ・「しかし」「けれども」「でも」は前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使う。
- ・「そして」「それで」「だから」は、前の文の続きや結果などをつなぐときに使う。

ふりかえり

- ・文と文をつなぐことができた。 ()
- ・文と文をつなぐ言葉の使い方がわかった。 ()

読7 つなぎの言葉に気を付け段落相互の関係に着目する。

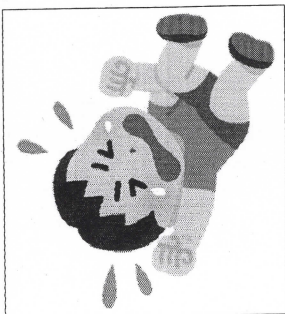
ゴール「起・承・転・結」の構成に気をつけて、物語を書こう。

○ 文章を書くときは、下の□のように、お話の構成を「起・承・転・結」の4つに分けて考えると、読み手をよりひきつけることができます。次のア～ウから絵を一枚えらび、記号を○でかこみましょう。また、えらんだ絵をもとに想像してお話を考え、①～④の言葉に続けて書きましょう。

お話の4つの構成

- ① 起…お話の始まり
- ② 承…お話の始まりの続き
- ③ 転…予想外の出来事
- ④ 結…まとめ

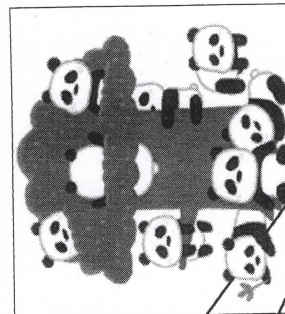
ア



イ



ウ



起	①ある日のことでした。目がさめると、わたしは小さな船の中に
	ました。ほかにはだれもいません。「たしかにきのうは、家のふとんでねたはずなのに、なぜだろう。」と、わたしは首をかしげました。
承	②そして、しばらく考えているうちに、わたしを乗せた船は少し
	はなれた所に見える島べとんとん近づいていきました。そこで、わたしは「あの島についたら、助けをよぼう。」と、考えました。
転	③しかし、その島は無 ^む 人島でした。島中をさがし歩きましたが、人
	どころか動物などの生き物の気配 ^{けはい} もありませんでした。ガスや電気や水道もなく、あるといえは一本の大きなヤシの木だけでした。わたしはどうしたらいいかわからず、思わずヤシの木をけてしまいました。
結	④(すると、)ヤシの実がわたしの頭に落ちてきて、わたしは気を失
	てしまいました。次に目ざめたとき、わたしはふとんの中にいました。「ゆめだったのか。ああびっくりした。」ほっとしたのもつかの間、わたしのまくらもとには、ふしぎなことにヤシの実が一つ転がっていました。

つなぎの言葉を考えて入れましょう。
(例) どうと、 ついに

ふりかえり

起承転結に注意しながら、物語の文章について考えることができました。()

書：6 4コママンガや4コマのお話を作るなど、起承転結を明確にして、書く。